

地域づくり活動 NPO 事業助成（連携重視）事業 **実績報告**

団体名	特定非営利活動法人 大山捕獲隊	代表者名	理事長 西牧正美
事業名	篠山地域連動外来生物捕獲事業		

事業実施実績

年 月 日	活 動 内 容
2015. 4. 1 ～ 2016. 3. 31	<b>通年捕獲活動実施。</b> 年度期間内、一年を捕獲活動期間として、地域や被害遭遇地区で休み無く捕獲活動を進めています。
2015. 5. 17	<b>総会。年度初めの情報交換会を行う。</b> このところ天候が少し不順な為に、農作業等に遅れや支障が出ており、状況を見ながらミニ（少数）集会で回数を重ねることで確認をする。その為にメールや携帯を駆使して、日々の連絡を密にする事を申し合わせる。
2015. 6. 28	<b>特別会議開催。</b> 意見交換会を控えて、隊員と関係者の隊内意見交換会議を行う。普段考えていることや、外部から聞くことなどフリートークで進めた。
2015. 7. 5	<b>意見交換会&amp;慰霊祭実施。</b> 県（本庁&研究センター）からも関係者を招き、隊内外の関係者による会を開いた。寺院（大寶山・大乘寺）を借切って開催したが、特産とうふ飯を食しながら、忌憚の無い意見や思いを出し合っ集った。
2015. 9. 27	<b>秋の情報交換会議を行う。</b> 今年度半期を終えて、捕獲機材（箱わな等）のヘタリが目立つので、出没&被害状況を確認しながら、都合のつく箱わなについては回収をして、補強や修理調整を確認し合う。 味間や真南条・今田町など離れた地域から、捕獲や指導の要請があるとの話が出た。諸状況を確認しながら対応することで進めるが、個人的な判断や対応は厳禁で、隊本部に話を挙げて、捕獲隊として対応することを申し合わせる。
2015. 11. 15	<b>定例会議を行い、捕獲機材回収指示を出す。</b> 晩秋を迎えて、貸与している箱わなで、頻度が薄くなった地域や箇所モノは回収をして整備調整を行う旨の指示を確認し合う。
2016. 1. 19	森林動物研究センターにて、県内全市の担当者が集う森林動物の研究フォーラムが開催され、大山捕獲隊からアライグマの捕獲現状を活動報告として参加させていただく。前項にも記述しましたが、「やって見たら、こうでした」と云う観点からの話は面白かったらしく、いろいろとアンケートにも記載があったようです。

<p>2016. 2. 28</p>	<p><b>平成 27 年度、活動事業報告会開催。</b> 西尾ホールにて、関係者一同を集めて今年度の活動事業報告会を行いました。</p> <p>参加者は…。(当隊の隊員&amp;関係者以外に)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 県(研究センター)からも参加をいただきました。</li> <li>② 各地域で被害に遭われた方。そして、捕獲に関ってもらった方。</li> <li>③ 留守宅、別荘、古民家、空き家などの所有者。</li> <li>④ 自治会長や関係自治会の担当者など。</li> </ol> <p>皆さんが個々の立場から話(私見)を出していただき、何れにしても「止める」とか「休止」とか言う選択肢は無いと云うところから考えた場合、これまでの反省点を踏まえた上で、これからどのような形で関わって行くか。などについて意見を交わしました。</p> <p>特に、仕事などの都合で都市圏に在住で、住宅を留守宅状態で田舎に置かれている方や、古民家を購入されて付近の畑作り等と併せて、老後の生活に当てておられる方は、とても真剣に考えられているのですが、相談に行く所が無いと云うのが悩みの種と云われていました。</p>
--------------------	--

## 効果と成果

<p>外来生物(アライグマやヌートリア等)の存在は、被害に遭ったりしないと判りません。しかも夜行性の動物ですので、頻繁に見掛けるものでもありませんから、痕跡や被害についても、遭遇した人が関心を持って見る事が一番大切なこととなります。生活被害や農業被害については、地面に黒のビニールシートを敷くなどして踏ませ、歩いた後の足痕を確認して見てください。独特の足跡が残りますから、一発で何かが判ります。行政に云う前に、ご自分で出来ることをやって見て、ある程度の情報&amp;データを集めてから、有識者の指導を仰いで見てください。確かな成果が確認出来ると思います。</p> <p>それから、外来生物の捕獲は個人で行うモノではなく、近所の人達や地域と連携して行う方が、より良い成果に結びつけることが出来ます。</p>
--

収支決算書

(収入)

項 目	金額(円)
地域づくり活動NPO事業助成金	500,000
自己資金	195,605
合 計	695,605

(支出)

区分	項 目	金額(円)	左のうち助成対象金額(円)
直接 経費	旅費	73,478	40,000
	謝金	32,000	27,000
	会議費	91,718	20,000
	広報費	183,735	180,000
	消耗品費	220,873	210,000
	雑費	93,801	23,000
	小 計	695,605	500,000